

令和6年度第3回小牧市地域公共交通会議会議録

1 開催日時 令和6年10月7日（月）午後2時00分から

2 開催場所 小牧市役所本庁舎6階601会議室

3 出席者

(1) 小牧市地域公共交通会議委員

名古屋鉄道(株) 地域活性化推進本部 地域連携部長

高井 勇 輔
(夫馬康昌 代理)

名鉄バス(株) 運輸本部 交通企画官

平塚 康 男

あおい交通(株) 代表取締役

松浦 秀 則

尾張小牧タクシー(株) 取締役

江川 修

公益社団法人愛知県バス協会 専務理事

小林 裕 之

愛知県タクシー協会 副会長

若林 亨 修

愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事

山田 洋 央

公共交通利用促進協議会 会長

安藤 和 憲

小牧市区長会 連合会長

富田 賢 史

小牧市老人クラブ連合会 副会長

林 隆 治

小牧市女性の会 会計

林 順 子

中部大学工学部都市建設工学科 教授

磯部 友 彦

中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官

宮川 高 彰

(渥美宏 代理)

愛知県都市・交通局 交通対策課 担当課長

石屋 義 道

(吉野敬太 代理)

愛知県 尾張建設事務所 維持管理課長

加藤 純 丈

(壽賀奈津子 代理)

愛知県小牧警察署 交通課長

掛布 佳 男

(細羽俊輔 代理)

小牧市公共交通功労者

小柳 松 夫

犬山市 市民部 防災交通課長

伊藤 修

豊山町 産業建設部 まちづくり推進課長

森川 泰 成

(横山美佳 代理)

小牧市 福祉部長

伊藤 俊 幸

小牧市 建設部長

前田 多賀彦

小牧市 都市政策部長

鵜飼 達 市

(2) 事務局

小牧市	都市政策部	次長	舟 橋 朋 昭
小牧市	都市政策部	都市整備課長	川 島 充 裕
小牧市	都市政策部	都市整備課交通政策係長	服 部 達 也
小牧市	都市政策部	都市整備課交通政策係主事	宮 田 一 朗
小牧市	都市政策部	都市整備課交通政策係主事	太 田 敬 之
小牧市	都市政策部	都市整備課交通政策係主事	望 月 瞳

(3) 傍聴者

11 名

4 欠席者

0 名

5 議題

- (1) 小牧市地域公共交通計画策定について
- (2) こまき巡回バス「こまくる」再編について
- (3) 自動運転実証調査事業について

6 報告

- (1) こまき巡回バス「こまくる」小牧市学校ホリデーの無料乗車について

7 会議資料

- 資料 1－1 小牧市地域公共交通計画（案）
- 資料 1－2 小牧市地域公共交通計画概要版（案）
- 資料 2 令和 8 年度こまき巡回バス再編に係る基本方針・ルート（案）
- 資料 3 自動運転実証調査事業の実施概要
- 報告資料 1 こまき巡回バス「こまくる」小牧市学校ホリデーの無料乗車について
- 参考資料 1 小牧市地域公共交通会議委員名簿
- 参考資料 2 小牧市地域公共交通会議設置要綱

8 議事内容

【事務局】（川島課長）

大変お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただいまより、令和 6 年度第 3 回小牧市地域公共交通会議を開催いたします。

本日は、お忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。

私は、本会議の進行役を務めさせていただきます小牧市都市整備課長の川島です。

委員の皆様の委嘱にあたり、本日、小牧市地域公共交通会議委員の委嘱状を机上に配付しておりますのでご査収ください。また、時間も限られておりますので、お手元の参考資料の委員名簿をもちまして、ご紹介に代えさせていただきます。

また本日は、名古屋鉄道株式会社の高井委員に代わり、同地域連携部主務の夫馬様に、国土交通省中部運輸局愛知運輸支局の宮川委員に代わり、同首席運輸企画専門官の渥美様に、愛知県都市・

交通局交通対策課の石屋委員に代わり、同交通対策課主任の吉野様に、愛知県尾張建設事務所維持管理課の加藤委員に代わり、同総括専門員の壽賀様に、愛知県小牧警察署交通課の掛布委員に代わり、同交通課総務係係長の細羽様に、豊山町まちづくり推進課の森川委員に代わり、同課グループ長の横山様にご出席いただいております。

また、事務局につきましては、配席図にてご紹介に代えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。なお、前回に引き続き、小牧市地域公共交通計画策定等支援業務委託の受注者であります株式会社国際開発コンサルタンツ名古屋支店の担当者の方を本日同席させていただいております。

続きまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。会議資料につきましては、事前にご送付させていただいております。本日の次第、議題の資料としまして、資料１－１、資料１－２、資料２、資料３、報告の資料としまして、報告資料１、参考資料としまして、参考資料１、参考資料２であります。

資料の不足等ございましたら、事務局までお知らせください。よろしいでしょうか。

確認ありがとうございます。

それでは事務局を代表いたしまして、小牧市都市政策部次長の舟橋より挨拶を申し上げます。

【事務局】（舟橋次長）

皆様、改めまして、こんにちは。都市政策部 次長の舟橋でございます。本日は、ご多忙の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。委員の皆様におかれましては、日頃より、本市の交通政策に限らず市政各般に渡り、ご理解、ご協力を賜っておりますことに、心より感謝を申し上げます。さて、本日は、これまで議論をいただいてまいりました、小牧市地域公共交通計画とこまき巡回バス「こまくる」再編案について、11月に予定しているパブリックコメント実施前の会議となります。

また、今年度桃花台地区で予定しております、自動運転実証調査事業について実施内容案がまとまりましたので、そちらを議題としております。また、報告事項といたしまして、こまき巡回バス「こまくる」小牧市学校ホリデーの無料乗車について、を予定しております。

委員の皆さまにおかれましては、活発なご議論をお願いいたしまして、簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします

【事務局】（川島課長）

本日の出席委員につきましては、委員総数の22名であります。従いまして、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により本会議は成立をいたしております。また、同要綱第6条第5項の規定により、本会議は原則として公開することとされておりますので、本日の会議も公開とさせていただきます。

それでは、次第の2「会長の選出及び副会長の指名について」に移ります。

小牧市地域公共交通会議の会長につきましては、小牧市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員の互選によってこれを定めることとされており、また副会長につきましては、委員のうちから会長が指名するものとされております。従いまして、まずは会長につきまして、委員の互選をいただきたいと思います。どなたか立候補、またはご推薦をお願いいたします。

【小柳委員】

これまで地域公共交通会議において会長としてご尽力を賜り、交通に関する専門的な知識を備え、経験も豊富な方である、磯部委員を推薦します。

【事務局】（川島課長）

ただいま、小柳委員より、磯部委員を会長に推薦したいとのご発言がありましたが、他にはございませんか。

無ければ、磯部委員を会長に選任することについて、ご異議ございませんでしょうか。

《異議なしの声》

【事務局】（川島課長） ご異議なしとのことですので、本会議の会長には、磯部委員にご就任いただきたいと思います。

磯部委員、大変恐れいますが、席のご移動をお願いします。

それでは、磯部会長よりご挨拶をいただきます。

磯部会長、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

会長を務めさせていただきます、磯部でございます。

よろしくお願いいたします。

この地域交通はいよいよ、誰が頑張るかと言ったら、もう皆さんが頑張るしかない、そういう時代になってきますので、この地域にふさわしい交通システムを皆さんと考えていきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

【事務局】（川島課長）

ありがとうございました。以後の進行につきましては、磯部会長にお願いしたいと思います。

磯部会長、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

それでは、副会長の選任を行いたいと思います。小牧市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項の規定に基づき、会長である私より指名させていただきます。

副会長には、これまで当会議の副会長を務められておりました、小柳委員にお願いしたいと思います。ご異議ありませんか。

《異議なしの声》

【磯部会長】

ありがとうございました。ご異議なしとのことですので、副会長は、小柳委員にお願いいたします。

続きまして、次第の3議題に入ります。議題(1)「小牧市地域公共交通計画策定について」であり

ます。

この件について、事務局より説明を求めます。

【事務局】（服部係長）

それでは、議題(1)「小牧市地域公共交通計画策定について」ご説明申し上げます。

前回の会議では、計画書（素案）をお示しさせていただきましたが、前回の会議でいただいたご意見等を踏まえ、計画書を修正しましたので、主な修正点についてご説明させていただきます。

資料1－1の52ページをご覧ください。前回の会議では、計画の目標の達成状況を評価するための数値指標と目標値のうち、「①公共交通機関の1日平均利用者数」の基準値及び目標値を調整中としておりましたが、基準値には令和5年度の実績値を、目標値には過去の実績を基に今後を推計して算出した数値を追記しております。

続いて、56ページをご覧ください。前回の会議でいただいたご意見を踏まえ、目標5の事業5－①「公共交通の利用促進」の事業概要、下から2つ目の黒点に「利用啓発グッズの作成等」を追記しました。

続いて、同ページ事業5－③「運転手確保に向けた取組み」の事業概要、3つ目の黒点に「運転手不足解消に向けた効果的な対応策の調査研究」、実施主体に「市」を追記しました。

以上が主な修正点となります。

続いて、資料1－2をご覧ください。資料1－1としてとりまとめた計画書（案）のうち、1章、7章、8章、9章を抽出し、概要版として整理したものになります。

この概要版につきましては、パブリックコメントの参考資料として取り扱う予定としております。

最後に、計画策定に係る今後のスケジュールについてご説明させていただきます。

本会議終了後、本日の計画書（案）を、10月11日に開催される小牧市都市計画審議会において改めて本計画の関連計画である都市計画マスタープランやコンパクトなまちづくりを目指すための計画である立地適正化計画との整合性について確認をとりたいと考えております。

その後、11月の月上旬から1月間、パブリックコメントを実施し、令和7年1月頃に開催予定の本会議において、パブリックコメントでいただいたご意見とそれに対する市の考え方をお示しし、令和7年2月頃に計画を策定したいと考えております。

以上で議題(1)「小牧市地域公共交通計画策定について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございます。前回に引き続き小牧市地域公共交通計画（案）について前回指摘されたところを直して、さらに概要版を作成したという内容です。

これについて皆様からご意見いただければと思います。

【小柳委員（公共交通功労者）】

素案の修正案が示されたということで、私としてはこの案で良とするとしておりますが、小牧市の基軸である名鉄小牧線の各駅が整備されまして、それぞれ広域的な要素を持ったというふうになっております。特に小牧駅は、春日井駅、それから勝川駅、さらには岩倉駅というように、もちろん桃花台にも出ております。また、桃花台から高蔵寺駅に、それから春日井に利便を図っていただいております。

前から、岩倉駅までもバス路線がございますが、小牧の北西部に関してはちょっと空白地帯があり、「こまくる」では色々運行されておりますけども、公共交通からすると、ちょっとこの辺の手当てをしなければならないというような考えを持っております。

前回もお話あったと思いますが、これについては企業でやるということには大変難しいという話が議会でも出ていたと思いますが、味岡、田島の周辺も整備されてきましたので、ここには大学、あるいは公立の高校、民間の高校、あるいは企業が入っております、ここからですね、実は従業員の送迎を今やられております。そういう面から色々なことを考えてですね、この辺を今後どのような形で路線を開発して、例えば味岡駅から西の名鉄犬山線の例えば布袋駅に結びつけるような発想が、これから必要になってくると考えております。今後について、そのことについてどのようなお考えを持っていられっしゃるか、一言お聞かせを賜りたいと思います。

【磯部会長】

ありがとうございます。現状に加えて将来への見込みというか、検討課題があるのではないかとことです。事務局いかがですか。

【事務局】（川島課長）

名鉄小牧線と犬山線を結ぶ民間路線バスにつきましては、名鉄バス株式会社が運行する岩倉線が名鉄小牧駅と名鉄岩倉駅を、また間内岩倉線が名鉄間内駅と名鉄岩倉駅を結んで運行しているところであります。

計画案の 50 ページにお示ししておりますが、広域的な移動需要への対応につきましては、民間交通事業者が主体となって、利用実態や利用者ニーズを踏まえて、需要に応じたサービス水準を確保するものと考えております。

小柳委員からは、企業バスの活用につきましてご意見をいただきました。他市におきましては、企業バスを一般乗合バスとして運行する実証実験の取り組みが行われている事例があるところがあります。今後も、情報収集などに努めるとともに、企業や運行事業者と意見交換させていただきながら検討したいと考えております。

【小柳委員（公共交通功労者）】

色々計画があり検討していただけるということでしたが、資料 1－2 にも一部、書いてあると思いますけれども、広域的な移動を支える公共交通手段の確保というようなことも謳われておりますので、この辺もご再考いただきまして、今後このことについては積極的に民間の企業との間で確保するなり、あるいはその他の色々な条件を整えて完遂していただければいいかなと思っております。

【磯部会長】

今回の案でいきますと、50 ページに市内の公共交通機関の位置づけと役割というのが、これは現況を中心とした一覧となっておりますけれども、さらに色々検討が必要だというご意見がございしますので、検討するというのも計画の中に入るのかなと思いますので、その辺の文言が入るのかどうか、それに関していかがでしょうか。

【事務局】（服部係長）

ただ今、会長よりご意見ございました交通計画への記述に関することにつきましては、資料 1－1 の 54 ページのページ下段に広域的な移動を支える公共交通手段の確保という目標に対応した事業を記載させていただいております。

事業のタイトルとしましては、各公共交通機関の役割に応じた運行ということで、鉄道、バス及びタクシーが有する機能及び各公共交通機関の役割に応じた運行を実施するとともに、サービス水準の維持・改善に努めますと記載させていただいております。その事業概要の 3 つ目に、新たな路線の設定検討という文言を今回書かせていただいておりますので、小柳委員からご意見がありました企業バスの活用につきましても、検討を進めてまいりたいと考えております。

【磯部会長】

ありがとうございます。この中で検討をするということで、詳細な検討はまた以降に皆さんとやっていきたいと思えます。

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

先ほどご説明があったように、この地域公共交通計画と他の計画で、立地適正化計画という、国会審議の中でも、一緒になって、両方の計画は整合性をとらなければいけないという、こういうので生まれた計画でございます。当然、そのまちの整合性を図って、また総合的にチェックをしていただきそれを盛り込むということになります。

それでは、本日承認を得ておきたいと思いますが、そのように進めて、議題(1)「小牧市地域公共交通計画策定について」は、原案のとおり異存なしということでよろしいでしょうか。

《異議なしの声》

【磯部会長】

ありがとうございます。

それでは続いて、議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」再編について」であります。

この件について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】（服部係長）

それでは、議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」再編について」、ご説明申し上げます。

前回の会議では、令和 8 年度こまき巡回バス「こまくる」再編に係る基本方針（案）と再編ルート（案）をお示しさせていただきましたが、地元区や関係機関と調整する中で、ルート（案）の一部修正が生じたので、本日は、主な修正点についてご説明させていただきます。

資料 2 をご覧ください。資料につきましては、11 月に実施予定のパブリックコメントに向け、これまで協議いただいた内容を再編の背景と目的、課題整理、基本方針（案）、再編ルート（案）の構成で整理したものととなります。パブリックコメントの際は、本資料の形で掲示したいと考えております。

それでは、ルート（案）の修正点についてご説明させていただきます。

10 ページをご覧ください。2 河内屋線です。前回の会議では、大口町との連携を強化するため、河内屋新田バス停以降のルートを変更する案としていましたが、さらなる利便性の向上を図るため、

総合スーパーヨシヅヤを展開する株式会社義津屋との調整を行い、「ヨシヅヤ大口店」へ乗入れるルートに修正したいと考えております。この修正に伴い、北西部地区の方々の利便性向上のため、横内バス停以西の区間を右回り・左回りで交互運行したいと考えております。

15 ページをご覧ください。11 味岡桃花台線です。前回の会議では、変更対象路線としていみせんでしたが、小牧駅を経由するルートに変更したいと考えております。

20 ページをご覧ください。A 1 田県線、A 2 久保一色線、A 3 岩崎原線です。前回の会議では、A 2 久保一色線と A 3 岩崎原線を統合する案としていましたが、久保一色地区、岩崎地区から第 3 老人福祉センター田県の郷や地元のスーパーマーケットへのアクセス利便性についてのご意見をいただいたことから、3 路線を統合し、右回り・左回りで交互運行したいと考えております。

21 ページをご覧ください。T 1 篠岡光ヶ丘線、T 2 城山大草線です。前回の会議では、「鷹ヶ池入口」バス停以降のルートを、光ヶ丘三・四・五丁目を經由するルートに変更する案としていましたが、光ヶ丘地区から「光ヶ丘第一公園」バス停の在置に関するご意見をいただいたことから、「鷹ヶ池入口」以降のルートを「光ヶ丘第一公園」バス停まで現行のルートに戻し、その後、桃花台ニュータウン外縁道路に出るルートに変更したいと考えております。

以上が主な修正点となります。

23 ページをご覧ください。23 ページ以降は、パブリックコメントの参考資料として、各路線の主な変更点、各路線バス停停車順、再編前後比較表、料金体系を整理しました。

最後に、こまき巡回バス「こまくる」再編に係る今後のスケジュールについてご説明させていただきます。小牧市地域公共交通計画と同様に本会議終了後、11 月の月上旬から 1 月間、パブリックコメントを実施し、令和 7 年 1 月頃に開催予定の本会議において、パブリックコメントでいただいたご意見とそれに対する市の考え方を示し、再編内容を固め、運行事業者の選定、こまくるガイド等の印刷、バス停時刻表の表示替えなどに係る必要な予算を来年度予算として計上し、再編運行に向けた準備を行い、令和 8 年 4 月の再編運行を目標に取り組んでいきたいと考えております。

なお、ルートにつきまして、1 点調整中の案件がございます。

14 ページをご覧ください。7 桃花台線、13 野口大山線でございます。こちらのルートでございますが、本日の資料にはまだ反映しておりませんが、「城見橋東」バス停につきまして、イオン小牧店への乗り入れについて、ルートを変更できないかという検討を進めているところでございます。イオン小牧店と調整が整い次第、ルートに反映させていきたいと考えております。なお、こちらにつきましては、18 ページにあります H5 春日寺線につきましても、イオン小牧店へ乗り入れられないかということで、7 桃花台線と合わせて同時に検討を進めているところでございます。

以上で議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」再編について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございます。いろんな検討を重ねて微調整をしています。その中で、バス停の位置というのは危険な場所は駄目だというルールもございますし、バス停も置く施設の方々のご依頼がないと置けない、そういったことでございますから、いろんな調整がなされているということでございます。

これについて皆様からまたご意見あればお願いしたいと思います。

【安藤委員（利用促進協議会）】

再編ルートをずっと見ていきますと、デメリットのところ、路線が当然再編されるということは、2本が1本に吸収されるということで、伸びることなのですね。伸びることによって運行時間が伸びれば便数が減少する。ここが考えもので、便数が減少することによって、せっかくあそこへ行けるようになったという、利便性が上がるにも関わらず、これが好きな時間に行けなくなる。だんだんと時間が少ないとなると、自分の生活に照らし合わせた時に、果たしてそれが利用者にとってはありがたいことなのだろうかということを考えた時に、一概にデメリットは便数が減少しますよということだけでは、実態に応じて、そこは本当に利用客が増えて利便性が上がってくるのだしたら、本数も現状通りの維持ができるような検討も、実施した後の課題とは思いますが、その辺りもちょっと考えていかないと、一概に便数を減らすことによって魅力的な「こまくる」になるのだろうかということがちょっと懸念されるという意見でございます。

【磯部会長】

主に便数が減少することに対するご意見ですが、事務局いかがですか。

【事務局】（川島課長）

ルートが延長し、運転手が2人体制から1人体制になることにより減便を考えております。これは、運転手の拘束時間の短縮や休息時間の確保などを定めました「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」の影響を受けるためであります。ただし、減便した後のダイヤ等の設定につきましては、各路線で利用状況が異なりますので、現在の各路線の利用状況を踏まえるとともに、適正な運行間隔となるよう検討を進めていきたいと考えております。

【磯部会長】

簡単な言葉で言うと、利用者側から見た上手な使い方っていうのは一体どういうふうにしたらいいいのかという話ですね。どういうふうに上手に「こまくる」を使ったらいいのかなということ。ですから、これからこの会議の皆さんと一緒に考えていくことになると思いますので、ご協力よろしくお願いします。

他にいかがでしょうか。

【富田委員（区長会）】

乗り継ぎの問題がやっぱり安定してくるかなということで、事務局も頭を悩ましてみえると思うのですけれど。路線はいいのだけど、まちの方に行きたい、或いはここに行きたいって言ったときの次の路線に移るとき、乗り継ぎが30分、40分あったら、この際は止めておこうかというような話になってしまって、やっぱり10分、15分のところでうまく乗り継いで、小牧市民病院だとか市役所だとか駅だとかに行けるような、そういうことは次の問題なのですけれど、ぜひ大事なかなということを考えておりますので、これは要望という形になると思うのですけれど、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

乗り継ぎをする場合はダイヤの組み方などのいろいろな対応策があるといいなと思いますが、い

かがでしょうか。

【事務局】（川島課長）

乗り継ぎの不便さの軽減につきましては資料の7ページに記載をさせていただいております。7ページの上段部分になりますが、ルート・ダイヤ等に関する方針としまして、乗り継ぎの不便さを軽減しますということで、こまくる間の乗り継ぎの不便さの軽減を図るため、小牧駅、市民病院を起終点としている路線については、小牧駅及び小牧市民病院の双方を経由するルートに見直しますということで、今回再編を考えております。

また、それ以外の箇所の乗り継ぎにつきましても、可能な限りダイヤを調整しまして、「こまくる」間の乗り継ぎ、また「こまくる」と民間路線バスの乗り継ぎがスムーズになるように検討していきたいと考えております。

【磯部会長】

まずダイヤの工夫がありますし、工夫してもどうしても道路上を使う乗り物は遅延が出てしまったりするので、それをなんとか情報提供できるといいなと。一般的な色んなバス全体について言える話ですが、あくまで出来るかわからないけれど、出来るといいなと考えております。

他にいかがでしょうか。

本当にこのルート・ダイヤというのは非常に難しく、いろんな条件で運転手さんの問題とかですね、色々厳しい条件になってきておりますので、それが今回の再編の一番大きな理由にもなっていると思いますけど、より良く使いやすい形にぜひ取りまとめてもらって、皆さんで使いましょうということになると思います。

また、商業施設への乗り入れをまだ検討中でございます。商業施設への乗り入れというのは、お客さんの車の出入りの話も出ますから、その辺をうまいことやらないと、ぐちゃぐちゃになってしまうということがあったりするので、色々と調整していただいて、できるだけいい方向になるよう対応をしてもらいたい。

【小柳委員（公共交通功労者）】

これまで、やっぱりこれを集約してくるには、市民のアンケートをとったり、あるいは利用者のアンケート意見を集約したり、あるいは関係企業の色々意見や提案を受けたり。さらには地域の懇談会を重ねて、最終的には可能な限り集約されたものがここでの提案かと思います。

一人ひとりはかなり不満というところの話がいくらでもある。したがって、懇談会の中でも感じたのですけども、参加させていただいて、最初は「みんなが利用しやすい公共交通を考えよう」というテーマだったものですから、アンケートと同様に色々な意見がでました。おいおい、これは大変だな、こんなこと全部やったら、要はお願いばかりだったのですけども、二度目の懇談会のときには、先ほど言ったように、働き方改革とかによる問題、運転手問題、或いは経費の問題、現状、など様々な条件を示しながら皆さんとの意見交換をしたと、こういう経過もありました。

かなり大変だったと思うけども、最大公約数的にまとめたいただいたというように理解をいたしております。これは令和8年度から再編されるわけですけども、5年サイクルで経路について、ダイヤについては変更するということが書かれております。したがって、5年間何もしない、そのままで行くということはないので、私は現在示された案が、パブリックコメントに提出する案として

はいいのではないかと、このように理解いたしております。以上です。

【磯部会長】

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

【林委員（老人クラブ）】

今回の事業を拝見させていただいて、今、小柳委員がおっしゃったように、相当色々なことを検討された結果が出ているなということを感じますし、この中にも相当高齢者に対する配慮等がされていると思います。

私も、自分も含めて老人会のメンバー等々のいろんな話を聞きますと、もう最近は、今あるダイヤをしっかりと自分自身が勉強して、自分自身がどう行けば、どういう時間に行けばいいのかということで、認識しています。特に免許証を返納された方もお見えになりますけども、段々この魅力が高齢者にとっては非常に増してきているし、正直、頼りになる存在になってきているなというふうに、自分自身も含めて今考えて、この方針が1つのありがたい内容かなということを実感しております。

本当に様々な意見、知恵を出していただいて、より良い内容になるようにお互いに研究し、知恵を出してあっていききたいなという気持ちでいっぱいあります。

意見ではありませんが、感想でございます。

【磯部会長】

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

それでは、皆さんのいろんな意見をまとめた成果としてこの案はできておりますので、議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」再編について」は、原案のとおり異存なしということでよろしいでしょうか。

《異存なしの声》

【磯部会長】

ありがとうございます。

続いて、議題(3)「自動運転実証調査事業について」であります。

この件について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】（服部係長）

それでは、議題(3)「自動運転実証調査事業について」、ご説明申し上げます。

資料3をご覧ください。本日は、「令和6年度自動運転実証調査事業の実施概要」についてご説明いたします。

まず、今年度の事業者についてですが、本実証調査の実施にあたっては、改めて業務委託受注者を選定するため、本年6月から8月にかけて公募型プロポーザルを実施し、参加表明書等の提出があった2者について審査を行った結果、昨年度に引き続き、BOLDLY株式会社を事業者として決定いたしました。

次に、運行概要についてであります。まず、運行ルートにつきましては、前回の会議にてプロポーザル実施内容の標準ルートとしてお示しさせていただきましたが、桃花台ニュータウン内において、桃花台センターを起終点として外縁を周遊するルートとしました。資料に記載のある赤色の路線を「桃花台西回りルート」とし、青色の路線を「桃花台東回りルート」としており、車両1台でそれぞれのルートを交互に運行する予定としております。

次に、乗降場についてですが、昨年度に引き続き、自動運転車両への試乗一般の方々の乗車を予定していることから乗降場を設置したいと考えております。乗降場の設置箇所につきましては、こまき巡回バス「こまくる」や民間路線バスのバス停が設置された箇所を予定しておりますが、具体的な設置箇所につきましては、今後関係機関と調整のうえ固めてまいりたいと考えております。

次に、運行時間についてですが、全日9時から16時までを予定しております。運行時間のうち、12時から13時までの時間帯については、自動運転車両の調整等の時間としたいと考えております。

次に、運行本数についてですが、桃花台西回りルートと桃花台東回りルートを1日あたり各6便で運行したいと考えております。運行にかかる時間としましては、桃花台西回りルートが25分程度、桃花台東回りルートが25分程度の合計50分程度を想定しておりますが、具体的なダイヤにつきましても、今後関係機関と調整のうえ固めてまいりたいと考えております。

次に、使用車両についてですが、ミニバスと呼ばれるバス型の電気自動車を使用いたします。車両の規格としましては、資料に記載のとおりであります。現在、こまき巡回バス「こまくる」で使用しているロングポンチョと同程度となっております。自動運転時の最高速度は35キロメートル毎時で走行が可能となっており、手動介入時においては、運行ルート内の制限速度に近い速度での走行が可能となっております。

乗車定員は14名程度を予定しており運転手と補助員が各1名乗車する予定であります。

車両の周囲認識機能は、Lidar（ライダー）と呼ばれるレーザー光を照射して物体を検知する装置や、ミリ波レーダーと呼ばれる電波を使って物体を検知する装置等が多数搭載されております。これらの装置で検知した情報を複合的に見ることで、車両の前後130メートル、左右100メートルの物体まで検知が可能となっており、障害物の自動回避や車線変更等が可能となっております。

次に、自動運転レベルについてですが、昨年度と同様に自動運転レベル2で実施したいと考えております。

次に検証内容についてですが、今年度は2つの検証内容を設けております。

まず、1つ目は社会受容性に関する検証です。自動運転移動サービスをより多くの方に利用していただくために、車両へのラッピングや市広報誌、市公式SNS等を活用した広報、運行ルート周辺をはじめとした関係機関への説明、運行ルート上への看板の設置等を行い、自動運転に対する認知拡大を図りたいと考えております。また、自動運転車両に乗車された方を対象としたアンケート調査の実施や、運行ルート周辺の地域住民や学校などと連携して、自動運転に関する理解の促進を図りたいと考えております。

検証内容の2つ目は、自動運転環境に関する検証となります。レベル4自動運転移動サービスの実現に向けて、自動運転車両の安全性や技術面、道路や信号等のインフラ整備、周囲の自動車交通に与える影響などの走行環境について調査したいと考えております。

また、今回の実証調査では、昨年度と同様に遠隔監視システムや乗車予約システムの活用を予定しております。これらの自動運転移動サービスに必要な要素についても、調査したいと考えております。

最後に、今後のスケジュールについてご説明いたします。まず、11月頃を目途に関係機関と協議を行い、事業の内容を固めていきたいと考えております。その後、12月頃から関係機関や住民への周知を行い、令和7年1月13日から1月24日にかけて、実際に公道で車両を走行しながら運行の準備を進めていきたいと考えています。本番に向けた準備がある程度整った段階で、出発式と関係者試乗会を実施していきたいと考えております。そして、本番走行を1月25日（土）から2月14日（金）までの21日間実施したいと考えております。

以上で議題(3)「自動運転実証調査事業について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございます。自動運転は今年度も実施して昨年度とは場所を変えるということです。昨年度は市役所前で、今回は桃花台でということで、車両も前は9人乗りの小さいものでしたけれども、今回はもうちょっと大きいかたちで、運行日数もちょっと長い。そんな内容でやっていきたいということで、また色々なことが実験ではあるかと思いますが、事前に色々対応していかなければならない。

色々なご発言お願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

【小柳委員（公共交通功労者）】

今回は2回目になり、第1回目は中心市街地で、やはり道路形態や信号機、幅員を狭いところを通行して、色々苦労があつて性能の調査ができたと思います。今回は一通り整備をされた、桃花台の中での走行ですから、どちらかと言えば環境の違ったところで実施、調査をするということで、それぞれ角度変えての調査ということで、僕は今回の取り組みはまた積極的にやっていただいたなと思います。

ただこれは、目指すところはレベル4であり、そういうような形に持っていかなければならないということだろうと思います。ですから、専用の道路に近いところ、あるいは鉄道の廃線の後のところのようなレベル4に近い対応が十分できると思うのですが、小牧市の場合はなかなかそういうところまで行くには手間暇のかかる計画、調査だなと思います。

今回、桃花台の外周を東西に分けてやっていただくのですが、実際はそれを実現していくには、実用性がある形をどうやって結びつけていくかっていうことが極めて重要だと思います。ですから、桃花台の中で3週間調査をいただくのですが、ここは外周を周っていただいても、経験としては乗っていただくことはできるけども、各施設や日常的に必要なところにはたどり着けないというような状況があるのですね。したがって、3週間やっていただいても、乗降して経験をしていただける市民がどれほどなのかっていうこと、ちょっとまだ心配しているのです。

こういふことですから、これは実証実験としてやっていただくこと、調査としてやっていただくことは大変賛成なのですが、将来に向けて実はどうするのだろう、第3回、第4回まででレベル4を近づいていくような形を取れるのかどうかということについては、私はちょっといろんな心配事があるような気がします。もちろん安全性の問題もありますし、あるいは、例えば今回やって、桃花台の外周だけではなくて、桃花台から市街地に結びつけるような形であれば、実用的にはかなり充実したものになって、将来的には充実したものになってきている、そんな気がしますね。

だから、その辺を、今回の調査がまずいということではなくて、今回は今回の調査でそれぞれのそれなりの成果を上げていただけたらと思いますが、続いて、次のものの考え方としてはどうなの

ということまで考えながら調査をしていくっていうことが必要ではないかと思いますので、1回お聞きしたいと思います。

【磯部会長】

ありがとうございます。レベル4に向けて、レベル4はどういう状態かっていうと、レベル2というのはまだ運転手さんがいるのです。だから本当の意味で自動運転というところから行くとだいぶ違うなということです。レベル4は運転手さんはいない状態で、遠くの方で監視するっていうのはありますから、そういった形を目指しているという。まだまだ日本全体でも、レベル4でやっているのはまだまだ本当にまだ限られています。まずは、目指してやっていこうと。

今のご心配は、昨年度、今年度やって、じゃあ将来的にどういうシステムにどんどん成長していくことを、このケースでは狙っているのかなっていうね。

まだ決まっているものじゃないと思いますから、お気持ちだけでいいので、どういう考え方かというご説明いただければ。

【事務局】（川島課長）

将来に向けての実用性についてのご意見ですが、この事業の目的としましては、「こまくる」の自動運転の導入が目的であります。しかし、レベル4の実施についてはまだまだ課題が多くあるものと考えております。今後の技術開発の進捗などを踏まえまして、今後ルートなど実施内容を検討していきたいと考えています。

【小柳委員（公共交通功労者）】

こういう形で僕たちも努力をしていかなければならない。行政に任せればいいやではなく、私どもも知恵を絞っていかなければいけないという思いで申し上げたものですから。今のお答えで問題ないです。将来に向けて楽しみにしたいと思います。

【磯部会長】

他に何か意見や、懸念事項があればお願いします。

【平塚委員（名鉄バス）】

課題はあると思いますが、前回会議でも申し上げさせていただきましたが、停留所を併設し、ルート上には小学校や中学校が多数ありますし、緊急車両が関係するところもございますので、準備の期間に関係機関と調整していただいて、実施に向けて調整をお願いしたいです。

【磯部会長】

それでは、まだ色んな調整が必要かもしれませんが、適切に対応していただいて、実証実験をいきたいと思います。議題(3)「自動運転実証調査事業について」は、原案のとおり異存なしということではよろしいでしょうか。

《異議なしの声》

【磯部会長】

ありがとうございます。

本日の議題は以上であります。皆様、慎重にご審議いただきありがとうございました。

続きまして、次第の「4 報告」に入ります。事務局からの報告ということで、説明の後、ご質問、ご意見がありましたら伺いしたいと思います。

それでは、報告(1)「こまき巡回バス「こまくる」小牧市学校ホリデーの無料乗車について」、事務局より説明をお願いします。

【事務局】（服部係長）

それでは、報告(1)「こまき巡回バス「こまくる」小牧市学校ホリデーの無料乗車について」、ご説明申し上げます。

報告資料1をご覧ください。あいち県民の日は、愛知県が令和4年に県政150周年を迎えたことを契機として、11月27日を「あいち県民の日」とする条例が定められ、「あいち県民の日」を含む直前1週間を「あいちウィーク」とし、期間中の県の施設等が割引や無料で利用できるほか、愛知県の魅力を発信するイベント等が各地で行われ、県内の学校では、「あいちウィーク」期間中の1日を家族と子供と一緒に過ごすことができる環境づくりにつなげるため、「県民の日学校ホリデー」に指定し、学校休業日とするとのことです。

小牧市においては、11月22日（金）が「県民の日学校ホリデー」の実施予定日となっており、公立の小中学校が学校休業日となる予定であります。このことに伴い、昨年度に引き続き11月22日（金）の終日、こまき巡回バス「こまくる」の小・中学生の利用料を無料としたいと考えております。

実施にあたりましては、市ホームページやバスロケーションシステムへの掲載、バス車内へ掲示するほか、あいち県民の日・あいちウィーク特設サイトへの事業の登録を行う予定としております。

なお、昨年度の実績としましては、小学生67人、中学生22人の方に「こまくる」をご利用いただいております。昨年度が初年度でありましたので、参考としまして、令和5年1月から12月までの1日あたりの小学生利用者数の平均と同期間におけるこども未来館フリーパス（中高生）の利用者数の平均を記載しております。参考値と比較して小中学生とも、平均を上回る多くの方にご利用いただいております。

以上で報告(1)「こまき巡回バス「こまくる」小牧市学校ホリデーの無料乗車について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございます。この件につきまして、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。

ご発言もないようですので、次に移りたいと思います。次第の「5 その他」であります。何かありますでしょうか。

【小林委員（愛知県バス協会）】

少し時間をいただきましたので、席上に配布させていただきました、バス運転手合同説明会という黄色いチラシについて、特に目新しいイベントではございませんが、少し紹介をさせていただきます。

ます。

今、この産業も大変人手不足の中でバスドライバーを増やしていこうとなっています。

全国では路線バスの廃止が行われておりまして、ニュースになっているところでございます。

また、身近なところでは、貸し切りバス、観光バスですけれども、繁忙期にこれから入るわけなのですが、皆様のやっぱりお子さんとかお孫さんが、楽しみにしている学校の修学旅行とか遠足、これにつきましても、運転手不足で車の配車ができずにお断りする、そういうことが、これから起きてくるのは確実でございます。業界の方でも、教育委員会に分散して実施していただくように要望しているところでもあります。

この合同就職説明会、今年で9年目になりましたけども、今年の10月19日、名古屋駅直結のJRゲートタワーにて愛知県を中心に東海地区の大手22社が参加をします。

こういう厳しい状況もあってか、22社はこれまでで1番多い出展でございます。

皆様方には、こういうこのような厳しい現状をご理解いただきまして、興味のあるお方に、こういうイベントがあるよということで、お知らせしていただけたら、よろしく願いいたします。

【事務局】（服部係長）

事務局より1点、次回会議の開催についてご連絡させていただきます。次回の会議につきましては、令和7年1月を予定しております。詳細な日程につきましては、改めてご連絡させていただきます。以上であります。

【磯部会長】

ありがとうございます。その他、何か発言がありましたらお願いします。特に発言がないようですので、進行を事務局へお返しします。

【事務局】（川島課長）

本日は長時間お疲れ様でした。最後に皆様に交通安全についてご連絡させていただきます。

交通事故を決して他人事と思わず、日ごろから気を付けていただくようお願いいたします。横断歩道は歩行者優先であり、車を運転される際には、横断歩道の手前では速度を落とし、歩行者等の早期発見に努めていただきたいと思います。

また、歩行時においては、左右の安全確認を行った上で、必ず横断歩道を渡っていただくなど交通ルールをしっかりと守り、加害者にも被害者にもならないよう日頃より交通安全にご注意いただきますようお願いいたします。

それでは、これをもちまして令和6年度第3回小牧市地域公共交通会議を閉会します。

皆様、本日は大変ありがとうございました。